



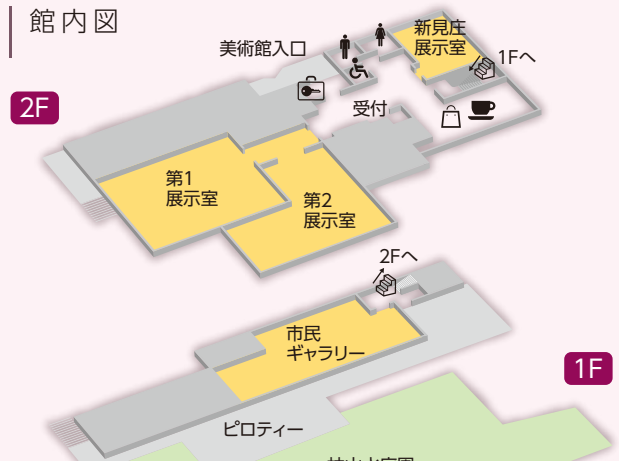
枯山水庭園の紅葉(11月上旬~中旬が見頃)



市民文化ゾーン庭園の藤棚

枯山水庭園の初夏

枯山水庭園の冬



- ♿ トイレ
- 👜 コインロッカー
- 🛍️ ミュージアムショップ
- ☕ 喫茶・休憩室



2018年8月にリニューアルした喫茶・休憩室(新見の市街地を展望できます)

喫茶庄

◆営業時間 9:30~17:00 (ラストオーダー16:30)

◆メニュー

コーヒー……………300円	抹茶(干菓子付) ……400円	ケーキセット……………600円~
紅茶……………350円	アイスコーヒー……400円	(特別展開催中のみ)
ジュース(オレンジ・マンゴ) 各350円	アイスクリーム……300円	ピザフリッタとスープセット 500円

枯山水庭園や新見の市街地を眺めながら、ゆっくりとおくつろぎいただくため、コーヒー、紅茶、ジュース、抹茶などをご用意して、皆様のお越しをお待ちしています。



第1展示室

第2展示室



市民ギャラリー(貸館)~キルトmama展より~

ミュージアムショップ

交通のご案内



- 新見美術館までの順路(—)
- 無料駐車場があります(乗用車30台・バス2台)
- JR新見駅から、タクシーで約5分、徒歩で約10分(—)
- JR新見駅まで
- JR岡山駅から伯備線下り(米子・出雲方面)に乗車し、特急「やくも」で約1時間、普通列車で約1時間30分かかります。
- JR米子駅から伯備線上り(新見・岡山方面)に乗車し、特急「やくも」で約1時間、普通列車で約1時間30分かかります。
- 中国自動車道新見インターチェンジから車で約7分
- 岡山方面から国道180号線をご利用になりご来館されるお客様へ
- 新見警察署前の新見市役所前交差点を左折し、道路にある案内板に沿ってお進みください。
- 米子方面から国道180号線をご利用になりご来館されるお客様へ
- 宮脇書店前の高尾交差点を右折し、道路にある案内板に沿ってお進みください。

施設のご案内

- 開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 4/1~11/17まで: 月曜日(但し、祝日・振替休日は開館)
- 展示替期間 11/23~3/31まで: 月曜日(但し、祝日・振替休日は開館し、翌日休館)
- 展示替期間、年末年始(12/27[金]~1/4[土])
- ※休館日につきましては、事前に当館公式ホームページでご確認いただくか、お電話にてお問い合わせの上、ご来館ください。
- 観覧料 各展覧会案内をご覧ください。※常設展示はございません。

新見美術館 NIIMI MUSEUM OF ART

〒718-0017 岡山県新見市西方361 TEL・FAX(0867)72-7851 [e-mail] art@ex.city.niimi.okayama.jp

新見美術館 検索

http://fb.me/niimibijutukan



展覧会のご案内
2019.04 ▶ 2020.04
新見美術館



新見美術館について

新見美術館は、山と緑と水の豊かな備北新見の地に平成2年11月1日開館しました。

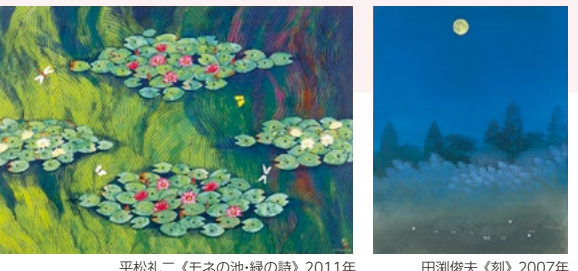
当館は、郷土出身の横内正弘氏(故人)から美術品300点余りの寄贈を受けたことにはじまります。現在では、1100点余りの作品を収蔵しており、その中心となる文人画家・富岡鉄斎の作品約70点は高い評価を受けております。その他、横山大観・竹内栖鳳から平山郁夫・田淵俊夫・平松礼二・宮廻正明などの近現代の日本画、郷土ゆかりの洋画家や工芸家の作品などを収集展示し、1年を通じて様々な展覧会やワークショップを開催しています。

新見は、京都東寺の荘園・新見庄として栄えたところで、美術館の外観は、中世建築のイメージを表すために、入母屋・銅板葺きの屋根と、外観に石を使い、この地方の風土と歴史を盛り込んでいます。また、館内にはミュージアムショップや喫茶室などを併設。喫茶室からは新見市街地を展望することができ、四季を通じて自然豊かな新見を満喫できます。

主な収蔵品



竹内栖鳳《富嶽》1927年頃



平松礼二《モネの池・緑の詩》2011年

田淵俊夫《刻》2007年



上村松園《雪の富士》1939年頃

小田野尚之《暮れゆく》2014年